

第2章 志木市の現状

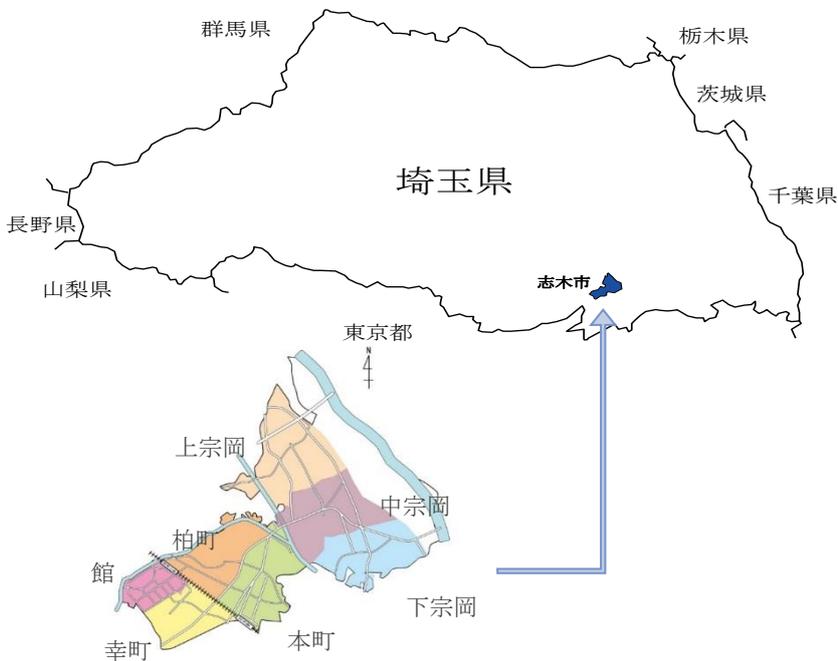
1 志木市の概要

(1) 志木市の概況

本市は、埼玉県南西部に位置し、面積 9.05 km² 人口約 7 万 6 千人の水と緑、人と自然が調和した都市です。昭和 45 年 10 月 26 日に市制を施行しました。

本市の中心を流れる新河岸川と柳瀬川、そして、東を流れる荒川と、3 本の川が志木のシンボルともなっていますが、特に歴史的には、新河岸川の舟運で栄えた商業都市として発展しました。

昭和 40 年頃から首都近郊 25 km 圏内で、都心まで 20 分という好条件から、人口も急増し、住宅都市としても発展してきましたが、その一方で田園など自然を感じられる風景が残されています。



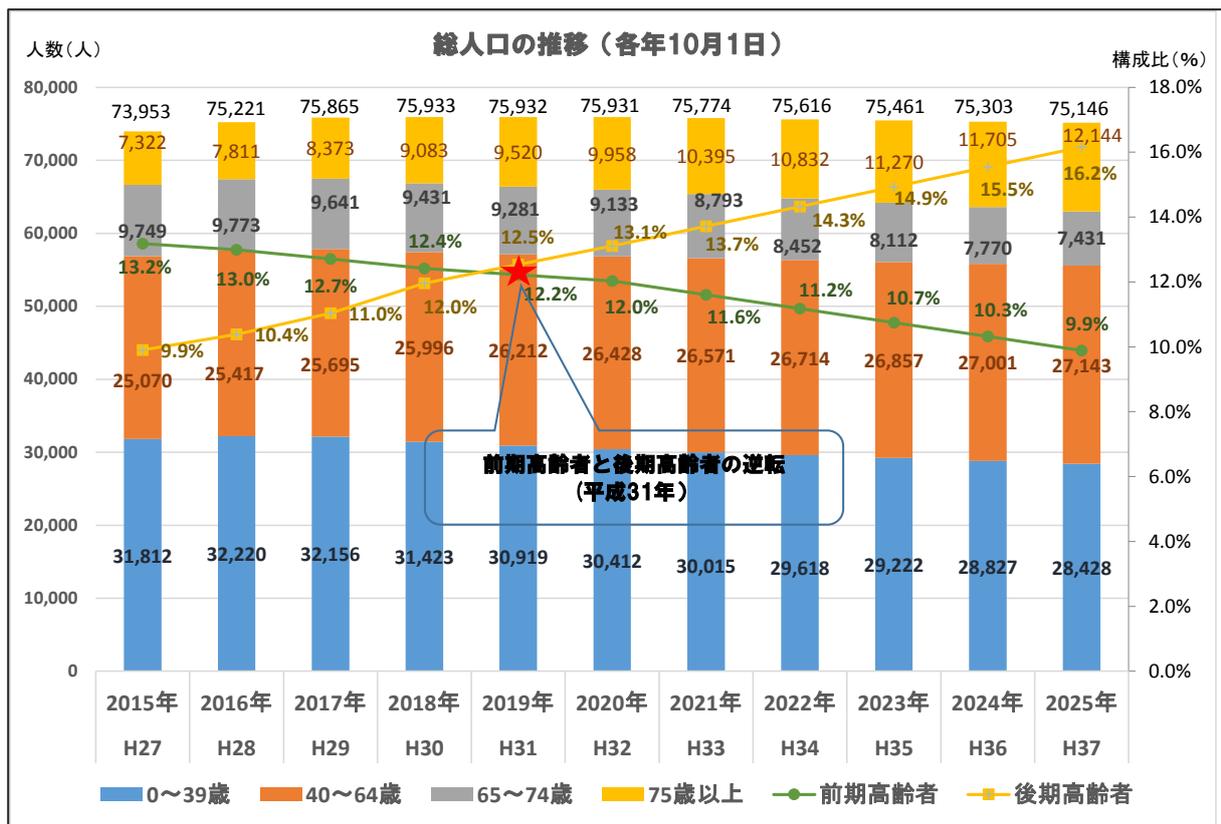
(2) 志木市の人口の推移

本市は、首都近郊 25 km 圏内、都心まで 20 分という好条件から市外へ通勤・通学する市民が多く、産業についても第 3 次産業（サービス産業）が約 7 割と大きく占めています。

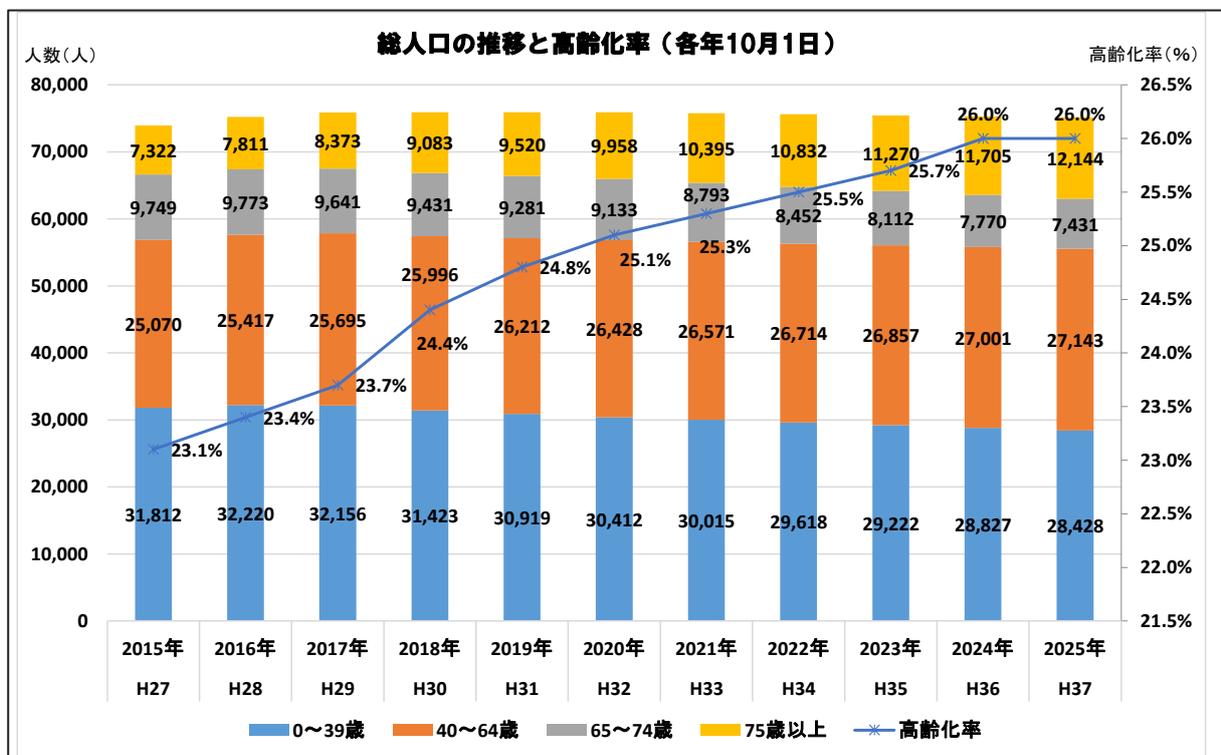
本市の人口は、昭和 45 年の市制施行以来、増加を続けてきましたが、近年では微増傾向で推移しています。今後、人口は平成 30 年（2018 年）を境に減少し、平成 31 年（2019 年）には、前期高齢者と後期高齢者の割合が逆転することが想定されています。

さらに、高齢者の人数をみると、団塊の世代がすでに高齢期に入っていることから、急激な増加はしないものの高齢化率は平成 32（2020）年で 25.1%、平成 37（2025）年で 26.0%に達するものと見込まれています。

■総人口の推移



■総人口の推移と高齢化率



(3) 志木市国民健康保険の加入状況

志木市国民健康保険の被保険者数は年々減少に転じています。全被保険者数では、17,604人で27年度と比較して1,251人(6.6%)の減となりました。志木市の総人口(75,704人)に対する加入割合は23.3%で前年度の25.4%より、2.1ポイント減となりました。

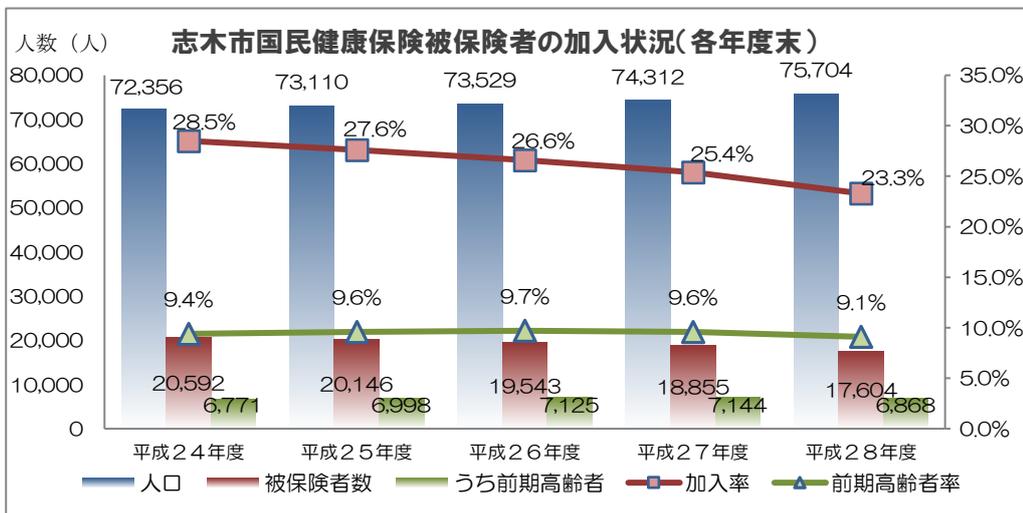
平成28年度末現在、世帯数は10,928世帯で、27年度比、508世帯(4.4%)の減となっています。志木市の総世帯数(33,781世帯)に対する加入割合は32.3%で27年度の34.7%より2.4ポイント減となりました。

被保険者数の内訳をみると、28年度末現在、一般被保険者が17,394人、退職被保険者等が210人で、27年度末と比較して一般被保険者が1,091人(5.9%)の減、退職被保険者等が160人(43.2%)の減となり、前期高齢者が一般被保険者のうち、39.5%を占めています。

また、近年の国民健康保険の被保険者数の推移をみると、社会保険に加入する条件が拡大していることや75歳に到達し後期高齢者へ移行する人も増え、国民健康保険の被保険者数が減少しています。

今後も引き続き、少子高齢化の進行、生産年齢人口の減少により、国民健康保険の被保険者数は減少に転じることが予測されます。

■国民健康保険被保険者の加入状況

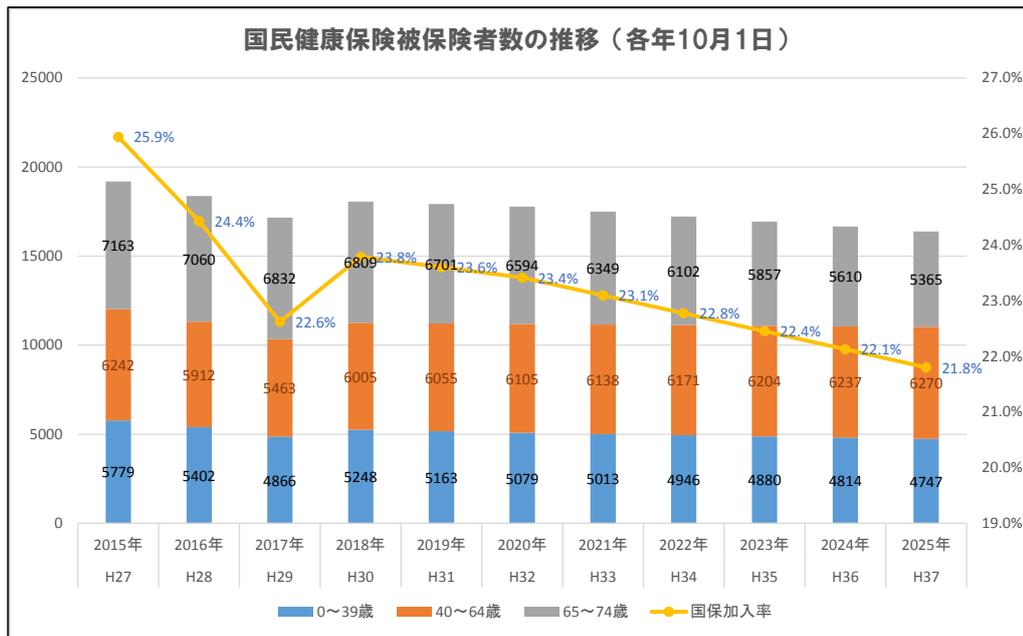


資料 志木市 保険年金課

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	世帯・数	世帯・数	世帯・数	世帯・数	世帯・数
世帯数	11,981	11,827	11,659	11,436	10,928
伸び率	0.9%	△1.3%	△1.4%	△1.9%	△4.4%
全体被保険者数	20,592	20,146	19,543	18,855	17,604
伸び率	△0.1%	△2.2%	△3.0%	△3.5%	△6.6%
一般被保険者数	19,780	19,417	18,985	18,485	17,394
伸び率	0.2%	△1.8%	△2.2%	△2.6%	△5.9%
うち前期高齢者	6,771	6,998	7,125	7,144	6,868
伸び率	4.2%	3.4%	1.8%	0.3%	△3.9%
退職被保険者等数	812	729	558	370	210
伸び率	△6.8%	△10.2%	△23.5%	△33.7%	△43.2%
志木市世帯数	31,346	31,857	32,345	33,002	33,781
国保加入割合	38.2%	37.1%	36.0%	34.7%	32.3%
志木市人口	72,356	73,110	73,529	74,312	75,704
国保加入割合	28.5%	27.6%	26.6%	25.4%	23.3%

資料 志木市 保険年金課

■国民健康保険被保険者数の推移



資料 志木市 保険年金課

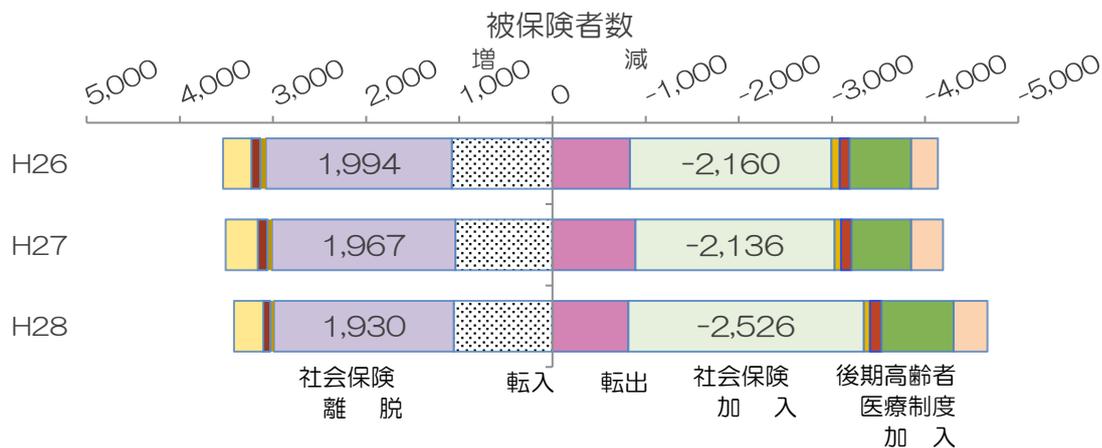
社会保険離脱により国保に加入した被保険者数と社会保険加入により国保を喪失した被保険者数を比較（社保離脱－社保加入）すると、平成26年度に初めて減少に転じ、平成27年度以降も減少が続いています。

■異動状況（事由別増減）

（資格取得）	転入	社会保険 離脱	生活保護 廃止	出生	後期高齢者 医療制度離脱	その他増	合計
平成26年度	1,082	1,994	58	99	0	303	3,536
平成27年度	1,044	1,967	49	101	0	347	3,508
平成28年度	1,061	1,930	37	76	0	313	3,417
（資格喪失）	転出	社会保険 加入	生活保護 開始	死亡	後期高齢者 医療制度加入	その他減	合計
平成26年度	834	2,160	91	106	658	289	4,138
平成27年度	891	2,136	70	113	641	341	4,192
平成28年度	816	2,526	67	125	773	361	4,668

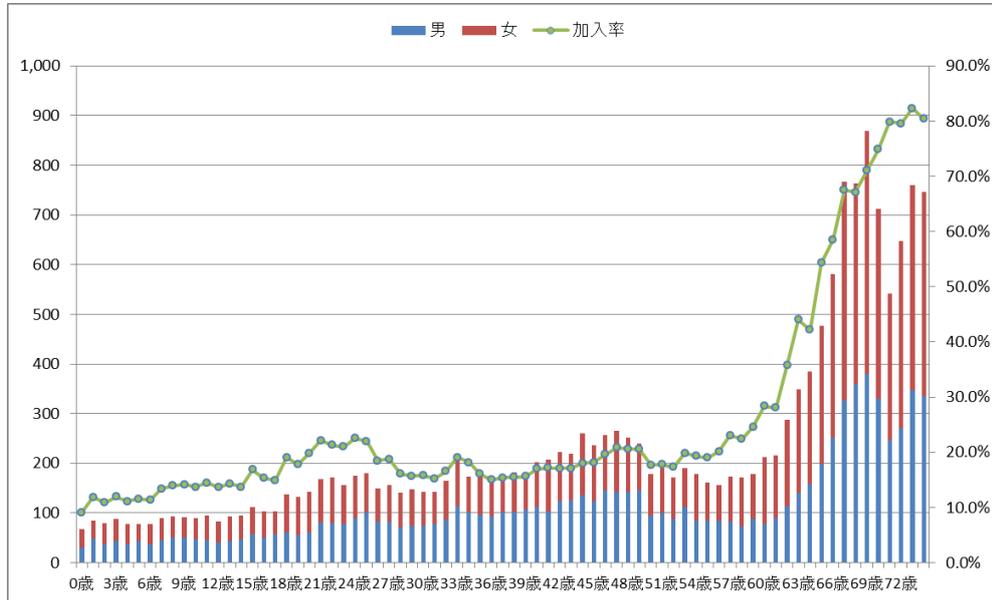
資料 志木市 保険年金課

《異動状況（事由別増減）》



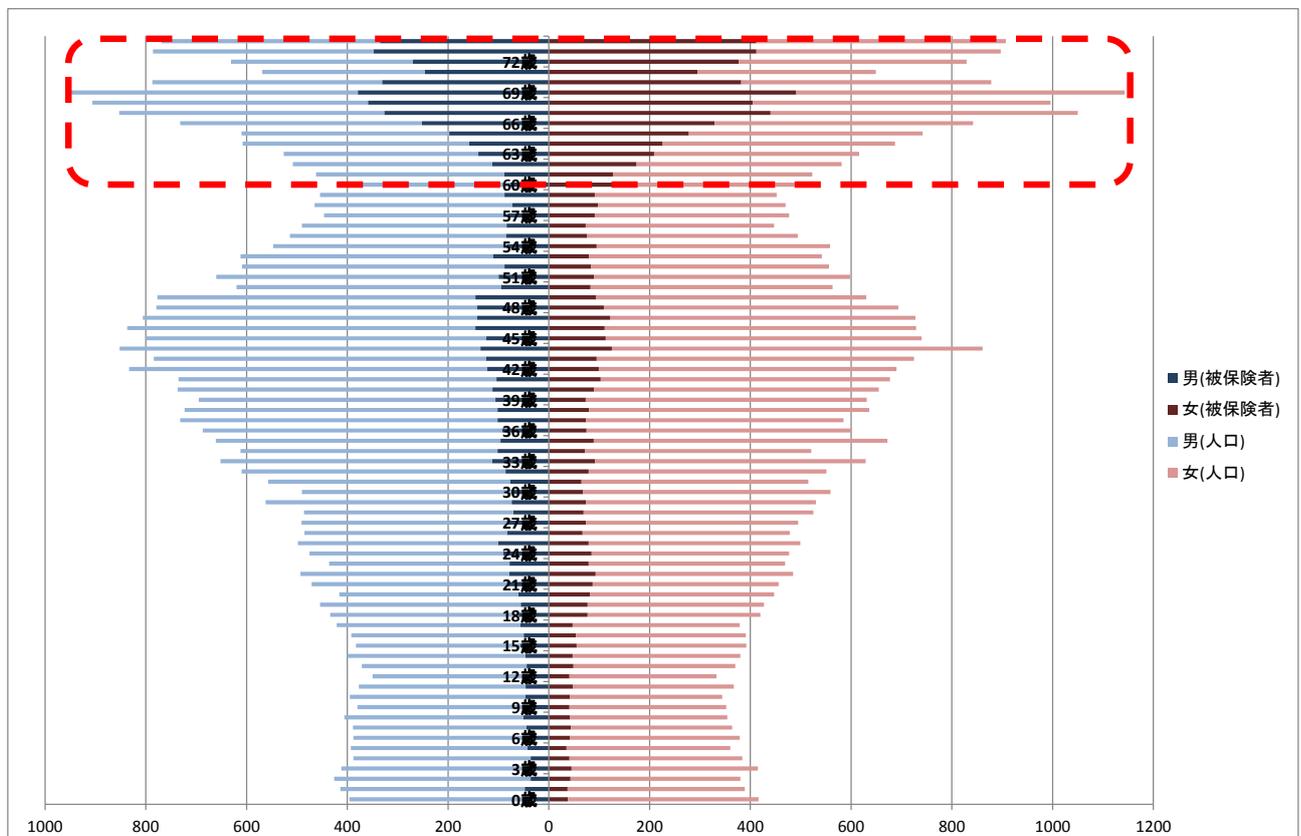
志木市国民健康保険の被保険者数は、63歳以上で増加しています。加入率は50歳代までは3割以下、60歳以上で約3割、66歳から5割を超えています。
また、男女ともに60歳代からの加入者が多く、加入率も高くなっています。

■年齢階級別の被保険者数と加入率（平成28年度末）



資料 志木市 保険年金課

■人口ピラミッド（男女別・年齢階層別被保険者数の構成（平成28年度末））



資料 志木市 保険年金課

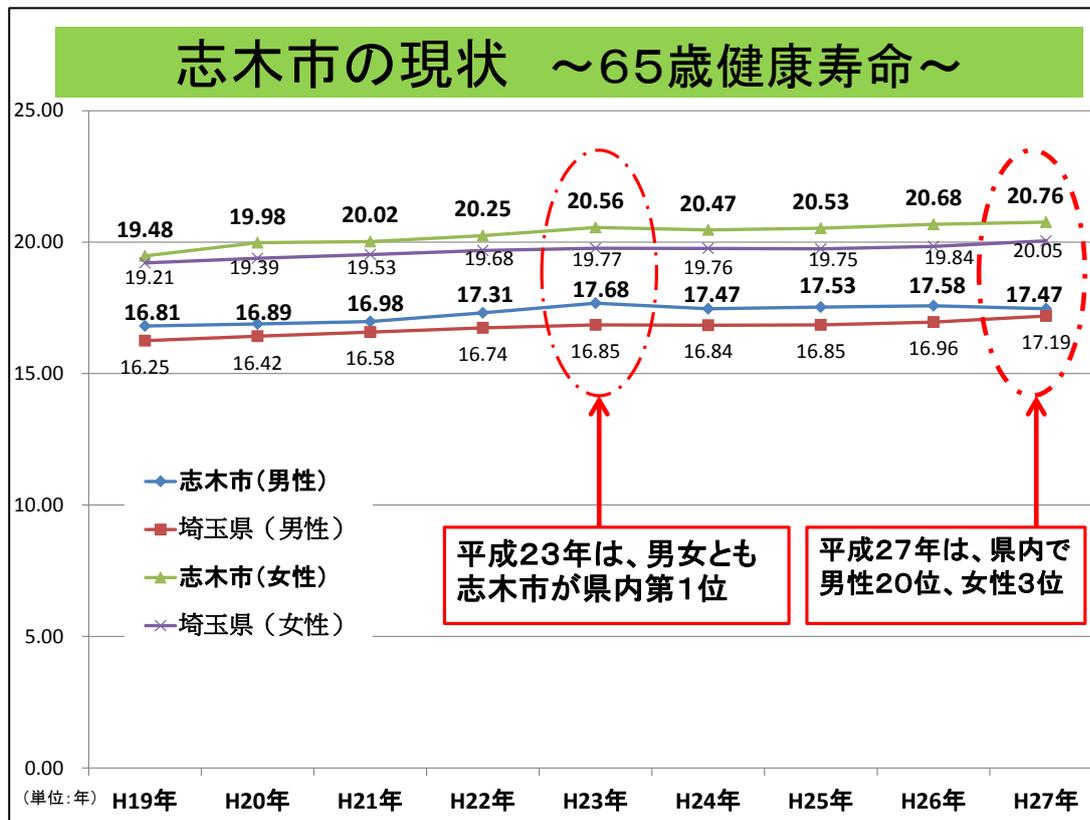
(4) 志木市の平均寿命・健康寿命

平均寿命をみると、本市の平均寿命は男性 80.5 歳、女性 85.5 歳となっています。65 歳健康寿命を埼玉県と比較すると、男性、女性とも県平均より高くなっています。

■平均寿命・健康寿命

	平均寿命(歳)		健康寿命(歳) (厚生労働省版)		65歳健康寿命(年) (埼玉県版)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
志木市	80.5	85.5	65.8	66.9	17.47	20.76
埼玉県	79.6	85.9	65.5	66.9	17.19	20.05
全国	79.6	86.4	65.2	66.8	—	—

※1 平均寿命、健康寿命(歳)：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」平成28年度累計
 ※2 65歳健康寿命(年)：埼玉県衛生研究所「健康指標総合ソフト」(平成28年度版)



(5) 死亡の状況

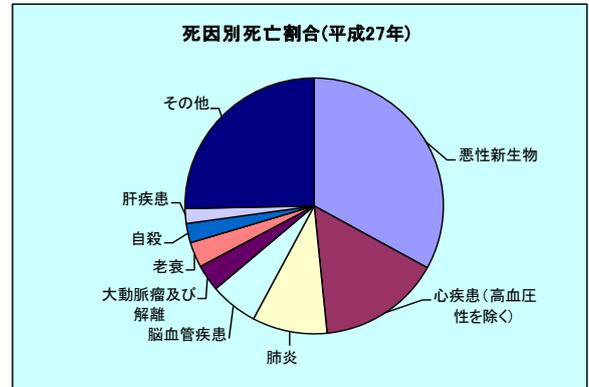
平成27年の死亡割合をみると第1位が悪性新生物で33%を占めています。第2位は心疾患（高血圧性を除く）15.4%、第3位は肺炎9.4%となっています。

■死因別死亡割合（平成27年）

		単位:人	
		死亡数	(%)
全死因		533	100
第1位	悪性新生物	176	33.0
第2位	心疾患(高血圧性を除く)	82	15.4
第3位	肺炎	50	9.4
第4位	脳血管疾患	32	6.0
第5位	大動脈瘤及び解離	18	3.4
第6位	老衰	17	3.2
第7位	自殺	13	2.4
第8位	肝疾患	10	1.9
その他		135	25.3

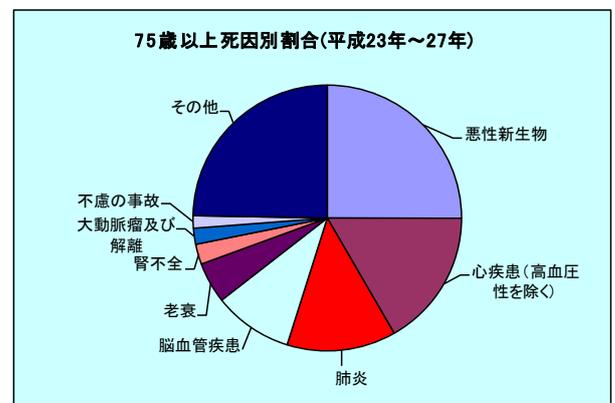
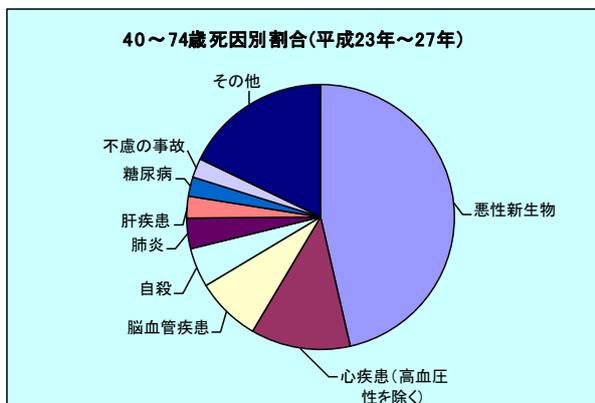
資料:埼玉県衛生研究所「健康指標総合ソフト」(平成28年度版)

※死因順位に用いる分類項目による。死亡数が同数の場合は死因简单分類のコード番号順に掲載している。
9位以下は8位と同数であっても掲載していない。



また、平成27年の40歳～74歳、75歳以上の死因別割合をみると、悪性新生物が第1位を占めており、第2位の心疾患（高血圧性を除く）とあわせて40歳～74歳は半数以上、75歳以上は40%以上を占めています。第3位は40～74歳は脳血管疾患、75歳以上は肺炎となっています。

■40歳以上の死因別死亡割合



※埼玉県衛生研究所「健康指標総合ソフト」(平成28年度版)

全国の死亡率を基準（100）とした時の埼玉県及び志木市のSMR※（標準化死亡比）を、死亡総数並びに疾患別で比較しました。

全国と比較し、心疾患総数、脳血管疾患総数ともに、上回っています。また、男性は脳血管疾患総数、脳梗塞、女性は心疾患総数、急性心筋梗塞の死亡率が高くなっています。

埼玉県は、心疾患の死亡率が全国に比べて高いですが、志木市の死亡率は埼玉県よりやや下回っています。

※SMR（標準化死亡比）

地域別に、死亡数を人口で除した通常の死亡率を比較すると、地域の年齢構成に差があるため、高齢者が多い地域では死亡率が高くなり、若年者が多い地域では低くなります。SMR（標準化死亡比）は、年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように、年齢構成を調整したものです。数値が100より大きい場合は全国より死亡率が高く、100より小さい場合は全国より死亡率が低くなります。

■ SMR（標準化死亡比）の比較（平成20年～平成24年）

	心疾患総数 (高血圧性疾患を除く)		急性心筋梗塞		心不全	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全国	100	100	100	100	100	100
埼玉県	112	115.7	107	117.4	94.7	105.8
志木市	101.5	111.2	87	105.7	89.6	96.2

	脳血管疾患総数		脳内出血		脳梗塞	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全国	100	100	100	100	100	100
埼玉県	102.7	107.1	96	99.7	102.9	108.4
志木市	106.1	101.5	84.1	64	105.4	101.7

	死亡総数		悪性新生物	
	男性	女性	男性	女性
全国	100	100	100	100
埼玉県	99.5	104.4	98.6	101.5
志木市	97.3	103.6	91.3	109.7

資料：厚生労働省 人口動態特殊報告 平成20～24年 人口動態保健所・市町村別統計

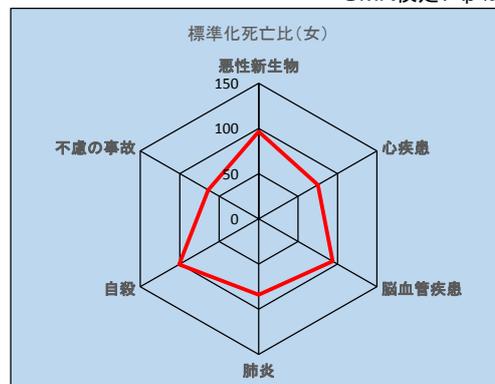
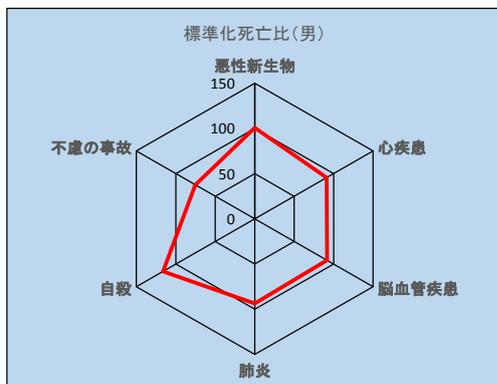
◆【参考】埼玉県衛生研究所において、平成23年から27年の埼玉県を100とした標準化死亡比の状況が示されています。男女とも自殺の割合が高い状況となっています。

標準化死亡比(平成23年～27年)

(基準集団：埼玉県100)

	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	自殺	不慮の事故
男	100.8	91.0	91.7	93.8	116.3	75.2
女	96.5	75.3 **	93.7	84.1	100.8	63.9
総数	99.5	83.6 **	92.9	90.2	111.0	71.0 *

SMR検定：* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$

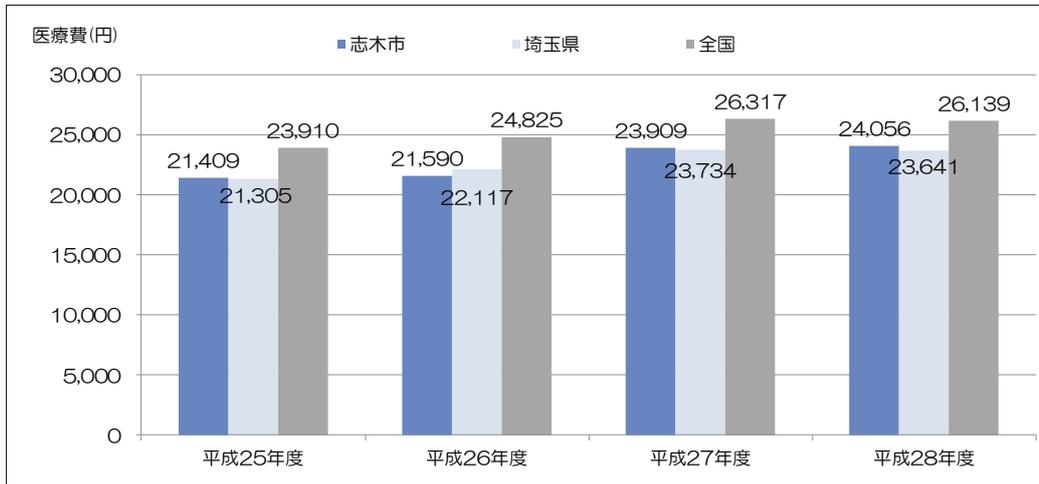


資料 平成28年度版志木市の健康指数
埼玉県の年齢調整死亡率とSMR算出ソフト「スマール君」

2 医療費の状況

被保険者一人当たり医療費は、高齢化の進展及び医療の高度化により年々上昇し続けており、平成25年度と平成28年度を比較すると、2,600円増加しています。埼玉県及び全国と比較すると、全国より低くなっていますが、埼玉県とは同水準となっています。

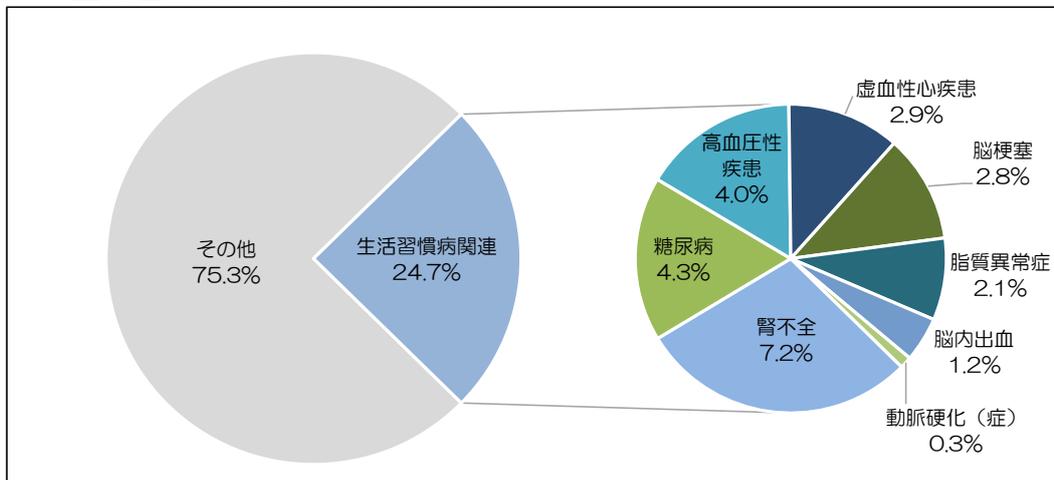
■被保険者一人当たり医療費(月額/人)の推移



※国保データベース (KDB) システム 「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より

生活習慣病に関する医療費は、医療費全体の24.7%となっています。生活習慣病の中では、腎不全、糖尿病、高血圧性疾患の順に高い医療費となっています。

■生活習慣病関連医療費の構成比



※医科レセプト、DPCレセプト、調剤レセプトのうち電子化されているものを集計。対象診療年月は平成28年2月～平成29年1月診療分(12カ月分)。

※医療費：医科レセプト、DPCレセプト、調剤レセプトのうち電子化されているものの合計点数の合計額です。

(食事療養費、訪問看護費、療養費、移送費は含まれません。)

※構成比：小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表記しました。このため、合計が100.0%にならないことがあります。